

## 利尻島からのシリアゲムシの初記録

室 洋介<sup>1)</sup>・佐藤雅彦<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 〒060-8589 北海道札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学農学部昆虫体系学教室

<sup>2)</sup> 〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 利尻町立博物館

### First Record of a Scorpionfly Species from Rishiri Island

Yosuke MURO<sup>1)</sup> and Masahiko SATO<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>Systematic Entomology, Graduate School of Agriculture, Hokkaido University,

Kita-9, Nishi-9, Sapporo, Hokkaido, 060-8589 Japan

<sup>2)</sup>Rishiri Town Museum, Honcho, Senhoshi, Rishiri Island, Hokkaido, 097-0311 Japan

**Abstract.** A scorpionfly species *Panorpa leucoptera* (Mecoptera: Panorpidae) was found from Oshidomari, Rishirifuji-cho. This is the first record of Mecoptera from Rishiri Island.

シリアゲムシ（長翅目：シリアゲムシ科）は日本から1科2属30種余りが知られている小さな分類群で、北海道からは1種のみが記録されている（Uhler, 1858）。シリアゲムシは飛翔能力が弱いため、分布範囲の限られる種が多い。特に海は強い地理的障壁となっており、複数の島にまたがって分布することが確認されているシリアゲムシは、9種のみである（宮本・中村, 2008）。

利尻島におけるシリアゲムシを含めた長翅目昆虫の採集記録は、筆者らの知る限りこれまで報告されたことはなかった（花谷ほか, 1968）。今回、利尻島においてシリアゲムシのオス1個体を採集したほか、礼文島にて撮影されたメス個体の写真も入手することができたのであわせて報告する。得られた標本には標本番号を記し、利尻町立博物館に保管する。

#### シリアゲムシ科 Panorpidae

エゾシリアゲ *Panorpa leucoptera* Uhler, 1858

標本番号：YoM 0500

標本保管場所：利尻町立博物館

採集地：利尻郡利尻富士町鴛泊ノドットマリ

採集年月日：2008年8月25日

採集者：佐藤雅彦

本種は、北海道の全域で6月上旬から8月下旬にかけて、平地の溪流沿いや林中で普通に見られ、樺太や国後島などからも記録されている（Plutenko, 1985）。その一方で、利尻島における採集例は本報告の1個体にとどまり、その生息密度はかなり低いものと考えられた。

これまで本種にはプライアシリアゲ *P. pryeri* MacLachlan, 1875 の和名・学名があてがわれてきた。プライアシリアゲは日本産長翅目の種で唯一、北海道から九州まで広く分布し、体サイズ、体色、翅の斑紋に著しい地理的変異を示す。現在では *P. pryeri* は函館から記載された *P. leucoptera* の新参異名であると考えられている。これまで *P. pryeri* の学名があてられていたもののうち、北方の個体は体が小振りになり、体色・斑紋の発達が弱くなるため、宮本・中村（2008）は北海道に産する斑紋の発達具合の弱いものを暫定的にエゾシリ



Figures 1-2. *Panorpa leucoptera*. 1. Male (Oshidomari, Rishiri, 2008.viii.25.); 2. Female (Kafuka, Rebun, 2008.viii.22.).

アゲ *P. leucoptera* とし、横浜から記載され本州以南に産するプライアシアゲ *P. pryeri* とは別種として扱っている。利尻島産の個体は、色彩や分布域から判断すると前者に該当するため、今回は宮本・中村 (2008) の処置に従い、エゾシリアゲ *P. leucoptera* の和名・学名をあてた。

なお、筆者らは礼文島で撮影されたシリアゲムシの写真 (2008年8月22日、宮本誠一郎氏撮影) を拝見する機会も得た。写真によって確認される黄色い胴体や頭部の黒い2本のすじなどの多数の特徴からエゾシリアゲであると判断したが、残念ながら標本は得られておらず、同島における確実な証拠標本を得ることが今後の課題となった。

最後に、原稿のご校閲をいただいた吉澤和徳助教 (北海道大学農学部昆虫体系学教室)、写真提供をいただいた宮本誠一郎氏 (レブンクル自然館) にお礼を申し上げる。

#### 参考文献

- 花谷達郎・小沼 篤・酒井 香, 1968. 利尻島の昆虫 (II) 鱗翅目を除くその他の昆虫. 利尻島動植物調査の記録. 79-91 pp.
- MacLachlan, R., 1875. A sketch of our present knowledge of the neuropterous fauna of Japan (excluding Odonata and Trichoptera). *Transactions of the Entomological Society of London*, 1875: 167-190.
- 宮本正一・中村剛之, 2008. シリアゲムシ目 (長翅目) MECOPTERA 概説. 新訂原色昆虫大図鑑 III. 北隆館. 229-233 pp.
- Plutenko, A. V., 1985. New and little known species of Mecoptera from the Soviet Far East. *Entomologicheskoe Obozreni*, 64(1): 171-176.
- Uhler, P. R., 1858. Descriptions of new Species of Neuropterous Insects, collected by the North Pacific exploring Expedition under Capt. John Rodgers. *Proceedings of the Academy of Natural Sciences of Philadelphia*, 1858: 29-31.